

令和6年度  
事業報告書

社会福祉法人 慈愛会

# 令和6年度（2024年度） 社会福祉法人 慈愛会 事業報告書

## 1 入所定員（現員）、利用者（児）、職員の内訳 （令和7年3月31日現在）

区分 施設名	定員	現員	利用者 延人員	利用人員数		職員数	
				入園者	退園者	常勤	非常勤
清心慈愛園	32	24	10,512	6	6	35	5
小規模児童養護施設 歩夢ホーム	6	5	2,190	0	1	5	2
小規模児童養護施設 あおば ひより	12	11	4,015	0	0	10	2
医療福祉センター聖ヨゼフ園	120	112	41,020	3	5	167	41
相談支援センター聖ヨゼフ園	相談受付件数 254 件					2	0
保育所等訪問支援事業所等聖ヨゼフ園	訪問回数 2 回						
児童発達支援・放課後等デイ フレフレ	7	7	640	—	—	6	0
清心乳児園 ※ 里親支援機関OHANA・ 母子支援機関Link職員・嘱託医含	20	15	6,626	6	6	54	15
特別養護老人ホーム富の里	50	41	17,092	13	14	27	16
富の里 短期入所サービスセンター	10	—	2,335	—	—	2	1
富の里 デイサービスセンター 介護保険法に基づく第一号事業 <small>（生きがいデイ教室富の里デイサービスセンター）</small>	35	—	6,223	—	—	8	3
グループホーム 富の里	18	18	6,205	5	5	12	7
生活支援ハウス 富の里	10	7	2,516	0	0	1	1
糸島市前原西地域包括支援センター	相談受付件数 8,833件 訪問件数 1,069件					10	0
富の里 ケアプランセンター	介護給付 1,144件 予防給付 130件					4	0
富の里ヘルパーステーション	訪問回数 6,654回					4	5
篠原の里	50	43	16,931	8	5	6	10
しのはらの里デイサービスセンター	30	—	6,162	—	—	4	8
デイサービス源藤の里こころ	30	—	4,643	—	—	5	9
小規模多機能ホーム源藤の里こころ	25	20	5,964	—	—	9	2
合 計	455	303	133,074	41	42	371	127

## 2 理事会・評議員会・監事監査等の招集及び開催

R6.5.24	会計監査人とのコミュニケーション（招集通知発出日：R6年5月10日）【集合会議】
6.3	監事監査（招集通知発出日：R6年5月10日）【集合会議】
6.10	令和6年度 第1回理事会（招集通知発出日：R6年5月31日）【Zoom会議】 <決議事項> 第1号議案 令和5年度慈愛会事業報告（案）の件 第2号議案 令和5年度収支決算（案）の件 「令和5年度会計監査報告及び監事監査報告」 第3号議案 定款変更の件 第4号議案 諸規程の一部改正の件 第5号議案 会計監査人欠員に伴う候補者の推薦及び令和6年度報酬等の額の件

	<p>第6号議案 令和6年度定時評議員会の招集の件  第7号議案 令和6年度資金運用計画の件  &lt;報告事項&gt;  報告事項1 令和5年度社会福祉施設指導監査及び施設基準に係る適時調査結果の報告  報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R6年3月～5月）の報告  報告事項3 令和5年度社会福祉充実残額の算定結果の報告</p>
6.27	<p>定時評議員会（招集通知発出日：R6年6月10日） 【集合会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 令和5年度収支決算（案）の件  「令和5年度会計監査報告及び監事監査報告」  第2号議案 定款変更の件  第3号議案 令和6年度会計監査人欠員に伴う会計監査人選任の件  &lt;報告事項&gt;  報告事項1 令和5年度慈愛会事業報告の件  報告事項2 令和5年度社会福祉充実残額の算定結果の報告</p>
7.1	<p>令和6年度 第2回理事会（招集通知発出日：R6年6月18日） 【Zoom会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 定款変更の件  第2号議案 諸規程の一部改正の件  第3号議案 令和6年度第1回臨時評議員会招集の件</p>
7.12	<p>令和6年度 第1回臨時評議員会（招集通知発出日：R6年7月2日） 【Zoom会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 定款変更の件</p>
R7.2.6	<p>令和6年度 第3回理事会（招集通知発出日：R7年1月28日） 【Zoom会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 定款変更の件</p>
3.18	<p>令和6年度 第4回理事会（招集通知発出日：R7年3月10日） 【Zoom会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 令和6年度収支補正予算（案）の件  第2号議案 令和7年度事業計画（案）の件  第3号議案 令和7年度収支予算（案）の件  第4号議案 令和6年度第2回臨時評議員会の招集の件  第5号議案 清心慈愛園・清心乳児園統括園長及び清心慈愛園園長の選任（交代）の件  第6号議案 諸規定等の一部改正（案）の件  第7号議案 社会福祉法人役員等賠償責任保険の契約（更新）の件  第8号議案 任期満了に伴う第三者委員選任（再任）の件  &lt;報告事項&gt;  報告事項1 養護老人ホーム篠原の里給食業務委託の報告  報告事項2 理事長及び常務理事の職務の執行状況（R6年6月～R7年2月）の報告</p>
3.28	<p>令和6年度 第2回臨時評議員会（招集通知発出日：R7年3月28日） 【Zoom会議】  &lt;決議事項&gt;  第1号議案 令和6年度収支補正予算（案）の件</p>

	第2号議案 令和7年度事業計画（案）の件 第3号議案 令和7年度収支予算（案）の件 第4号議案 定款変更の件 第5号議案 役員等報酬規程の一部改正（案）の件 <報告事項> 報告事項1 清心慈愛園・清心乳児園統括園長及び清心慈愛園園長の選任（交代）の報告 報告事項2 社会福祉法人役員等賠償責任保険契約（更新）の報告
--	---

### 3 定款等に関する事項（登記・認可・変更等）

R6.6.27	資産総額の変更登記 令和6年3月31日変更 資産の総額 3,805,664,698 円
8.28	定款変更認可申請（福岡県知事） 変更内容：社会福祉法改正に伴う条文変更及び基本財産の増加 （認可年月日：令和6年9月25日「6こ福第759号」）

### 4. 会計監査人の業務執行状況

R6.4.3	残高確認状発送手続・実査 【集合会議】
R6.5.22、24	期末監査（期末実証手続） 【集合会議】
R6.5.24	監事意見監査 【集合会議】
R6.6.10	第1回理事会（令和5年度会計監査報告） 【Zoom会議】
R6.6.27	定時評議員会（令和5年度会計監査報告） 【集合会議】
R6.12.25～26	期中監査（内部統制の検証・期中取引の実施手続） 【集合会議】

### 5 事業運営の透明性に関する事項

#### （1）社会福祉法人の現況報告書等の届出・公表等（情報公開）

R6.6.6	令和5年度事業報告書の提出 [独立行政法人福祉医療機構へ提出（電子申請）]
R6.6.21	慈愛会のホームページで公表 定款、現況報告書、財産目録、貸借対照表、事業活動計算書、資金収支計算書、事業報告書、事業計画書、監事監査報告書、外部監査報告書、社会福祉施設指導監査結果、役員等報酬規程、役員等名簿
R6.6.21	所轄庁への届出 社会福祉法第59条及び社会福祉法施行規則第9条等の規定に基づき、社会福祉法人の現況報告書等については、「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの財務諸表等の入力シート」及び電子ファイル（附属明細書等）を北筑後保健福祉環境事務所へ届出（送信）

R6.6.21	全国社会福祉法人経営者協議会「法人情報公開ホームページ」の更新 更新内容（現況報告書、財務情報、法人監事監査、所轄庁による法人指導監査、公認会計士等による外部監査、事業計画・報告書等）
R6.7.4	公益法人等の損益計算書等の提出 [久留米税務署へ提出]
R6.7.8	福岡県へ報告（県福祉総務課監査指導係） 社会福祉法人指導監査実施要綱に基づく社会福祉法人に対する一般監査周期の延長及び指導監査事項の省略について

## 6 意見要望等（苦情解決等）による第三者委員会の開催

R6.8.19	<p>第41回 意見要望等受付結果報告（期間：R6.1.1～R6.6.30） 【Zoom会議】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第三者委員 下川 雅文（障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長） 西原 尚之（一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表）</li> <li>2. 法人職員 法人理事長 平田 牧男（清心慈愛園 統括園長） 法人事務局長 平田 良一（聖ヨゼフ園 副園長） 法人事務局部長 家永 貴久 法人事務局課長 平田 渉</li> <li>3. 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男（清心慈愛園 園長） (2) 時村 俊幸（聖ヨゼフ園 園長） (3) 平田 正直（富の里 園長） (4) 田中 英樹（篠原の里 園長）</li> <li>4. 意見・要望等の受付書担当者等（受付書説明者） (1) 牛島 勲（清心慈愛園 部長）</li> <li>5. 受付件数 3件 清心慈愛園2件、聖ヨゼフ園1件</li> </ol>
R7.1.28	<p>第42回 意見要望等受付結果報告（期間：R6.7.1～R6.12.31） 【Zoom会議】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第三者委員 下川 雅文（障がい者支援施設 ウェルフェアマリア 施設長） 西原 尚之（一般社団法人 ファミリーワーク相談室ニシハラ 代表）</li> <li>2. 法人職員 法人理事長 平田 牧男（清心慈愛園 統括園長） 法人事務局長 平田 良一（聖ヨゼフ園 副園長） 法人事務局部長 家永 貴久 法人事務局課長 平田 渉</li> <li>3. 意見要望等解決責任者 (1) 平田 哲男（清心慈愛園 園長） (2) 時村 俊幸（聖ヨゼフ園 園長） (3) 平田 正直（富の里 園長） (4) 田中 英樹（篠原の里 園長）</li> <li>4. 意見・要望等の受付書担当者等（受付書説明者） (1) 平田 美津子（清心乳児園 副園長） (2) 深水 めぐみ（聖ヨゼフ園 部長） (3) 白川 泰彦（聖ヨゼフ園 部長）</li> <li>5. 受付件数 6件 清心乳児園1件、聖ヨゼフ園5件</li> </ol>

## 7 園長会・運営委員会・各部会事業報告

### (1) 園長会

ア 令和6年4月23日(火) (第266回) 【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 働き方改革対応について
- (ウ) 源藤の里こころの運営(支援)について
- (エ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (オ) 報告事項
  - ① 法人組織
  - ② 能登半島地震災害派遣
  - ③ 介護職員等処遇改善加算の支給方法(案)について(富の里)
  - ④ 「孤独・孤立相談ダイヤル#9999」(内閣府)
  - ⑤ HPからの「お問い合わせ」(篠原の里職員)について

イ 令和6年5月28日(火) (第267回) 【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 人事考課について
- (ウ) 働き方改革対応について
- (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (カ) 報告事項
  - ① 能登半島地震災害派遣
  - ② 「孤独・孤立相談ダイヤル#9999」(内閣府)
  - ③ 介護職員等処遇改善加算の支給方法(案)について

ウ 令和6年6月17日(月) (第268回) 【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 人事考課(総合考課)について
- (ウ) 令和6年度定期昇給(ベースアップ)について(処遇改善加算)
- (エ) 働き方改革対応について
- (オ) 源藤の里こころの運営(支援)について
- (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (キ) 報告事項
  - ① 能登半島地震災害派遣
  - ② 法人全体会について

エ 令和6年7月30日(火) (第269回) 【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 令和6年度定期昇給(ベースアップ)について(処遇改善加算)
- (ウ) 働き方改革対応について
- (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (カ) その他
  - ① 糸島市家事・育児支援サービス事業
  - ② 1.5次避難所経費請求
  - ③ 法人全体研修会
  - ④ 国際福祉機器展(10月2~4日)
  - ⑤ 第三者委員会(8月19日)4件
  - ⑥ 法人内研修インストラクター

(キ) 報告事項

- ① たちあらい見守り企業ネットワーク(広報誌等)
- ② 大刀洗町社会福祉法人情報交換会

オ 令和6年8月19日(月) (第270回) 【Zoom会議】

- (ア) 人材確保対策について
- (イ) 令和6年度定期昇給(ベースアップ)について
- (ウ) 働き方改革対応について
- (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について

(オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(カ) 将来構想について

(キ) 法人運営委員会報告について

(ク) その他

- ① 法人全体研修会
- ② 国際福祉機器展（10月2～4日）
- ③ 日本福祉大学
- ④ アジア社会福祉従事者研修生受入（2024年10月8月～1月17日）
- ⑤ 能登半島地震派遣費用

カ 令和6年9月30日（月）（第271回）【Zoom会議】

(ア) 社会福祉法人制度改革について

(イ) 人材確保対策について

(ウ) 働き方改革対応について

(エ) 最低賃金について

(オ) 源藤の里こころの運営（支援）について

(カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(キ) 将来構想について

(ク) 法人運営委員会報告について

(ケ) その他

- ① 法人全体研修会（11月14日）
- ② 国際福祉機器展（10月2～4日）
- ③ アジア社会福祉従事者研修生受入（2024年10月8月～1月17日）
- ④ 日本福祉大学
- ⑤ 能登半島地震派遣費用

キ 令和6年10月17日（月）（第272回）【Zoom会議】

(ア) 人材確保対策について

(イ) 最低賃金について

(ウ) 働き方改革対応について

(エ) 源藤の里こころの運営（支援）について

(オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(カ) 将来構想について

(キ) 令和7年度経営方針策定作業について

(ク) その他

- ① 法人全体研修会（11月14日）
- ② アジア社会福祉従事者研修生受入（2024年10月8月～1月17日）

(ケ) 報告事項

- ① 法人運営委員会報告について
- ② 国際福祉機器展（10月2～4日）について
- ③ 大刀洗町社会福祉法人情報交換会について

ク 令和6年11月29日（金）（第273回）【Zoom会議】

(ア) 虐待事案について

(イ) 人材確保対策について

(ウ) 人事考課制度について

(エ) 働き方改革対応について

(オ) 源藤の里こころの運営（支援）について

(カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について

(キ) 将来構想について

(ク) 令和7年度経営方針策定作業について

(ケ) その他

- ① 日本福祉大学提携社会福祉法人 実践研究発表会

(ケ) 報告事項

- ① 法人運営委員会報告について
- ② 法人全体研修会（実施報告）
- ③ 大刀洗町社会福祉法人情報交換会について
- ④ アジア社会福祉従事者研修生
- ⑤ 法人新任職員サポーター研修 2025年1月27日（月）

- ケ 令和6年12月23日(月) (第274回) 【Zoom会議】
- (ア) 虐待事案について
  - (イ) 人材確保対策について
  - (ウ) 人事考課制度について
  - (エ) 働き方改革対応について
  - (オ) 源藤の里こころの運営(支援)について
  - (カ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
  - (キ) 将来構想について
  - (ク) 令和7年度経営方針策定作業について
  - (ケ) その他
    - ① 法人新任職員事前研修 日程・場所
    - ② 障害者雇用(現状・今後の見通し)
    - ③ コストコビジネス会員
    - ④ 令和7年5月「孤独・孤立対策強化月間」取組登録
  - (コ) 報告事項
    - ① 法人運営委員会報告
    - ② 日本福祉大学提携社会福祉法人 実践研究発表会 他
    - ③ アジア社会福祉従事者研修生
    - ④ 法人新任職員サポーター研修 2025年1月27日(月)
    - ⑤ 法人全体会案 2025年3月5日(木) 13:30~16:00
- コ 令和7年1月28日(火) (第275回) 【Zoom会議】
- (ア) 人材確保対策について
  - (イ) 働き方改革対応について
  - (ウ) 源藤の里こころの運営(支援)について
  - (エ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
  - (オ) 将来構想について
  - (カ) 令和7年度経営方針策定作業について
  - (キ) その他
    - ① 障害者雇用(現状・今後の見通し)
    - ② コストコビジネス会員
    - ③ 児童福祉施設の設置認可申請(第二種社会福祉事業「里親支援センター」へ変更)
  - (ク) 報告事項
    - ① 法人運営委員会報告
    - ② 日本福祉大学提携社会福祉法人 サミット 他
    - ③ 雇用保険「失業手当給付金」に関する報告(富の里職員)
    - ④ アジア社会福祉従事者研修
- サ 令和7年2月13日(木) (第276回) 【Zoom会議】
- (ア) 社会保障・社会福祉をめぐる動向について
  - (イ) 人材確保対策について
  - (ウ) 働き方改革対応について
  - (エ) 源藤の里こころの運営(支援)について
  - (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
  - (カ) 将来構想について
  - (キ) その他
    - ① 3月賞与について
    - ② コストコビジネス会員
    - ③ 諸規程の改正
    - ④ ペアレントトレーニング(聖ヨゼフ園発達外来・法人心理士会)
  - (ク) 報告事項
    - ① 法人運営委員会報告
    - ② 日本福祉大学提携社会福祉法人
    - ③ 児童福祉施設の設置認可申請(第二種社会福祉事業「里親支援センター」へ変更)
    - ④ 法人内キャリアパス対応研修体系 インストラクター養成
- シ 令和7年3月31日(木) (第277回) 【Zoom会議】
- (ア) 社会保障・社会福祉をめぐる動向について
  - (イ) 人材確保対策について
  - (ウ) 働き方改革対応について

- (エ) 源藤の里こころの運営（支援）について
- (オ) 法人組織の将来に向けての課題整理について
- (カ) 将来構想について
- (キ) 令和7年度経営方針について
- (ク) その他
  - ① 3月賞与について
  - ② 諸規程の改正について
  - ③ ペアレントトレーニング（聖ヨゼフ園発達外来・法人心理士会）について
  - ④ 令和7年度 法人組織図
  - ⑤ 一般事業主行動計画について
- (ケ) 報告事項
  - ① 法人運営委員会報告
  - ② 日本福祉大学提携社会福祉法人
  - ③ 児童福祉施設の設置認可申請（第二種社会福祉事業「里親支援センター」へ変更）
  - ④ 外国人雇用
  - ⑤ 法人内キャリアパス対応研修体系 インストラクター養成
  - ⑥ コストビジネス会員について

## (2) 法人運営委員会（2024年度（令和6年度）事業報告）

### ア 会議開催（12回）

第1回	4月8日	第2回	5月13日	第3回	6月17日	第4回	7月8日
第5回	8月5日	第6回	9月9日	第7回	10月7日	第8回	11月11日
第9回	12月9日	第10回	1月20日	第11回	2月10日	第12回	3月5日

### イ 法人理念の周知と実践

#### (ア) キャリアデザインハンドブックの研修等への活用

#### (イ) 公益的な取り組みの遂行と取りまとめ

##### ① 社会福祉制度改革へ対応について

法人運営委員会の冒頭に常務理事よりこれからの社会福祉法人の在り方、我が国の福祉政策について、情報提供いただき、委員と共有した。特に、人口減少社会の中で人材不足の課題に対し社会福祉法人間の連携・協業化・ネットワーク化や、環境変化に対応する事業転換の必要性また介護福祉人材の確保などについて共有した。

### ウ 法人将来構想の展望

(ア) 前半は、「糸島宮崎地区」「大刀洗地区」の各地区で1回/月将来構想委員会を開催、後半は大刀洗地区の報告をし、社会福祉制度改革及び我が事丸ごと地域共生社会の実現を踏まえ法人運営委員会にて進捗状況等の情報共有に努めた。

大刀洗地区においては、慈愛園および乳児園の建て替えに伴う状況報告を行った。

### エ 慈愛会経営組織の充実

#### (ア) 人事考課制度の継続

#### (イ) 働き方改革への対応

① 令和7年4月の本格実施に向けてプロジェクト会議の情報共有や核施設における課題などを報告、随時プロジェクト会議で解決を図った。

令和7年度からは、定期的にプロジェクト委員会を開催し、労務管理について研修会を開催することとした。

#### (ウ) 研修体系構築について（法人研修部会と協力）

4月	考課者研修・新任職員人事考課研修
6月	初任者研修
7月	中堅職員ステップアップ研修
9月	人事考課研修 リーダー研修（外部研修を受講）
10月	新任職員中間フォローアップ研修
11月	法人全体研修会
1月	新任職員サポーター研修

2月	新任職員フォローアップ研修
3月	新任職員（事前）研修

オ 安全管理体制の強化

(ア) 感染対策

- ① 5類となりインフルエンザ同様の取り扱いとなったが、新型コロナ感染症が終わったわけではない。ウィルスを持ち込むことのないよう、拡散することのないよう、細心の注意を払いながら業務を遂行した。結果としては、新型コロナ感染症に感染し、特別支援学校に通学されている利用者様からクラスターとなった。5類に引き下げられたことにより、職員の感染対策が十分とは言えず終息に時間がかかる施設もあった。感染対策について職員への定期的な注意喚起が必要であったことは反省点である。
- ② インフルエンザやノロウィルスなど感染状況について各施設が定期的に報告し、情報の共有を継続した。

(イ) 風水害対策

- ① 各施設における災害対策および職員の行動指針について、リスクマネジメント部会を中心に確認、法人内施設で共有し、アップデートした。

(ウ) 安全管理体制の強化

- ① 福岡県災害派遣福祉チーム（DWA T）への参画と情報共有

カ ICT・IoT の活用について

- (ア) 各施設からの報告
- (イ) 国際福祉機器展の情報共有

キ 施設報告・部会報告

- (ア) 各施設より定期的に報告し、共有した。
- (イ) 各部会の会議内容や実施企画について報告し共有した。

(3) 法人全体会（H9.9.1 設置）（2024年度（令和6年度）事業報告）

ア 令和6年7月22日（参加職員61名） オンライン開催（Zoom）

- (ア) 理事長挨拶
- (イ) 法人組織及び委員紹介（異動者）
- (ウ) 能登半島地震支援のための職員派遣報告
  - ① 概要説明
  - ② 「福岡DWA T」災害派遣
  - ③ 「1.5次避難所」介護職員等派遣
- (エ) 令和5年度事業報告（各施設代表者）
  - ① 各施設事業報告（理事会報告資料から）
  - ② 法人運営委員会及び専門部会 活動報告（理事会報告資料から）

イ 令和7年3月5日（参加職員69名） オンライン開催（Zoom）

- (ア) 理事長挨拶
- (イ) 重要課題説明 常務理事 平田直之
  - ① 「令和7年度 経営方針（前文（めざす方向）」
- (ウ) 令和7年度 事業計画の概要
  - ① 法人運営委員会・各専門部会の取り組み
  - ② 各施設の取り組み（各施設事業計画）

(4) 法人全体研修部会（2024年度（令和6年度）事業報告）

ア 令和6年度の方向性

- (ア) 研修部会主催研修の充実
- (イ) 法人研修プログラム及び研修動画の整備
- (ウ) 法人間職員の交流の促進

(工) 各施設での初任者育成の取組共有とサポーター研修の連携強化

## イ 具体的方策と具体的取組

(ア) 研修部会主催研修の充実

① 研修部会主催研修の充実

- i 法人新任職員研修の目的・内容の整理と講師と連携
- ii 法人部会メンバーのEQSの理解促進と各施設との課題の共有
- iii 法人全体研修会の充実に向けての検討
- iv 中途採用者向けの新たな研修の継続

(イ) 法人研修プログラム及び研修動画の整備

① 研修プログラムの整備

- i 人材育成としての意識の醸成と目的の明確化
- ii 法人研修体系構築の整備継続と、より効率的・効果的な実施の推進

② 研修動画の整備

- i 動画を使った研修が実施できる体制を整備と効率性の向上
- ii 法人事務局と連携し人事考課研修・働き方改革に伴う変更点等の動画の整備

(ウ) 専門部会（栄養士部会、接遇向上委員会、感染症予防委員会）との連携を図る

- i 各専門部会との連携推進
- ii 栄養士部会研修会と活動の充実

(エ) 各施設での初任者育成の取組共有とサポーター研修との連携強化

- i 各施設での初任者育成の取組や工夫点の共有
- ii 法人新任職員研修と法人サポーター研修との連携の強化
- iii 各施設での研修会を法人内職員にズーム参加等で共有する仕組みづくり

## ウ 法人研修の実施状況

(1) 令和6年度 新任職員事前研修会	令和6年3月23日～25日 集合研修（聖ヨゼフ園及び清心慈愛園） 参加者 34名
(2) 考課者研修・新任職員人事考課研修	令和6年4月3～4日 集合研修（聖ヨゼフ園） 参加者 36名 令和6年10月2日 オンラインにて実施 参加者 22名
(3) 法人初任者研修	令和6年6月24～25日 集合研修（聖ヨゼフ園） 参加者 28名
(4) 法人中堅職員ステップアップ研修	令和6年7月10～11日 集合研修（聖ヨゼフ園） 参加者 20名
(5) 法人リーダー研修	県社協開催の研修に必要に応じて参加（各施設で申込）
(6) 新任職員中間フォローアップ研修	《キャリア組》令和6年10月27日 参加者 22名 《全体》令和6年10月28日 参加者 35名 集合研修（聖ヨゼフ園）
(7) 法人全体研修会	令和6年11月14日 ハイブリット形式で実施 会場：大刀洗ドリームセンター 参加者 140名 オンライン 参加者 87名
(8) 新任職員サポーター研修	令和7年1月27日 集合研修（聖ヨゼフ園） 参加者 18名
(9) 新任職員フォローアップ研修会	令和7年2月17日 集合研修（富の里） 参加者 32名 ※宮崎事業所 オンライン参加 2名
(10) 令和7年度 新任職員事前研修会	令和7年3月20～21・29日 集合研修（外部会場にて実施） 参加者 52名

## エ 具体的方策に対する取り組み報告

(ア) 研修部会主催研修の充実については、新型コロナウイルス感染症が「2 類感染症」から「5 類感染症」へ引き下げられた事もあり、感染予防を図りながら、今年度はほとんどの研修において、集合での研修の実施することができた。講師や部会メンバーからも集合での研修の方が研修効率が良いとの報告があっている。研修内でのグループワークでも参加者の意見交換が活発に行われ、より集中して受講している姿が見受けられた。

法人全体研修の開催については、今年度も好評であった各施設からの事例報告を中心に実施し、法人の取り組みにおいて新たに知る事も多く、実りある研修会となった。また、ハイブリッド形式での試みを実施し、できる限り多くの職員が参加できるように努めた。来年度については、時間枠の課題もあるが、外部講師からの専門的な講義を聞きたいとの声も寄せられている為、外部講師の講演実施に向けて努めていく。

中途採用者向けの研修も継続実施、昨年の反省をもとに、内容も改善し中途採用者が直面する課題についてフォローできるように努めた。

(イ) 法人研修プログラム及び研修動画の整備については、プログラムは継続して講師と事務局とで打ち合わせを実施し、昨年からの課題をもとにより効果的な研修への修正が継続してできている。研修動画の整備については、一部実施はできたが、体系的に実施するまでには至っていない為、来年度も継続課題として取り組んでいく。最終的には、欠席者へのフォローアップや、効率的な研修システムに向けて活用していきたい。

(ウ) 専門部会との連携については、継続して連携実施している。栄養士部会においても法人間での栄養部門にて研修の実施や、人員不足への対応としてのダブルワークの推進等、積極的に活動している。

(エ) 各施設での初任者育成の取組共有とサポーター研修との連携強化については、各施設での初任者育成における取組の共有や、離職率の状況の共有までは行えたが、その後の活用実施や、園長会への提案までは至っていない。来年度も継続課題として取り組んでいきたい。

## オ 今後の課題

(ア) 福祉分野においても AI や ICT の活用が広がっている現在、研修においても職員育成が体系的に実現していけるよう、研修内容の質の向上とともに動画（オンデマンド式）を活用し、必要な時に短時間で効率的に学習できる仕組みづくりを構築していきたい。また、キャリアパス研修を中心に法人内部でも講師育成を促進していくことで、講師自身のスキル向上、マネジメント力向上の機会として実施していきたい。

法人新任職員研修においては、講師との連携も図れ、より質の高い研修体制がとれていることから、その時々の課題も織り込みながら、内容の検討は継続して行っていきたい。また、新任職員同士の交流の機会を設ける事で、横のつながりを深め、同期職員が、一人ひとりの職員の成長や心の支えとなるように支援していきたい。

今年からの継続課題としている初任者育成の法人間での共有や活用促進についても今後も取り組みを継続していくことで、初任者の離職率低下に努めていく。

今後も現在の研修体系を基盤としながらも、研修の在り方・研修目撃の議論を活発にし、「法人が目指す職員増に基づき、能力開発ができる研修」に向けて、工夫・発展に努めていく。

## (5) 法人サービス評価部会 (2024 年度 (令和 6 年度) 事業報告)

### ア 令和 6 年度の活動方針

(ア) 令和 6 年度の法人サービス評価部会は、「慈愛会ビジョン 2025」の「2 サービスの質の向上」「10 人材の定着に向けた取り組み」および「2024 年度 慈愛会 経営方針」に則り、サービスの質を更に向上させることを目指して共通の取り組みや情報交換を行っていく。

(イ) 法人内利用者相互交流事業や法人内施設相互見学事業の企画・実施に向けて取り組む。

(ウ) 法人接遇向上委員会の活動と連携を図り、支援する。

### イ 具体的方策への取り組み

(ア) 養育・支援の質の向上

### ①法人内利用者間交流

今年度も各施設の感染症対策状況を踏まえ、法人全施設から利用者・職員が作成した作品を郵送または訪問して届ける利用者間交流を実施した。今年度で4年目となり、作ることを楽しみにしていたり交流を希望する利用者さんが増えたり活動が定着してきた。また、今年度は清心乳児園が富の里・篠原の里へ訪問、清心慈愛園は全施設訪問、聖ヨゼフ園が清心慈愛園訪問と直接渡す機会が増えた。参加者の感想としてこどもは交流できてよかった、聖ヨゼフ園の利用者さんは感染症の関係で施設周りまでしか行けなかったので外に出られてよかった、高齢の利用者さんは「見ていただけで元気になる」「来てくれて嬉しい」と声を掛けながら握手される等好評だった。次年度も継続実施する。

作品：清心乳児園（手形アート）清心慈愛園（貼り絵・カレンダー・ポーリング）  
聖ヨゼフ園（キーホルダー・ヘアゴム・マグネット）篠原の里（アクリルタオル）  
富の里（クッション・キーホルダー・ボール）源藤の里こころ（ちぎり絵）

### ②法人内施設見学

今年度はコロナ禍の令和3～4年度に入職した職員を対象に、勤務している部署は参加職員が説明する、朝の体調チェックは聖ヨゼフ園看護師さんに協力していただき、参加者全員がマスク着用、手指消毒し感染対策を行いながら6月と7月の2回に分けて48名が法人内施設見学に参加した。参加者の感想として各施設の事業や利用者中心の取り組み、職員間の連携などを学び、また違う分野に触れることで自施設や自身を振り返ったり自施設を説明することでより理解出来たり、自身の足りない部分がわかったり、学んだことを施設に活かしていきたい等学びが多い見学になった。部会としても入職後に見学したのでより理解できたのでは、自施設でも部署が違うと知らない職員が多く参加者自身が説明したので勉強になったのでは、グループで見学・昼食と1日行動したので話し合う時間があり交流も出来たなど実りのある見学になった。

### ③各施設のサービスの質の向上への取り組み

（清心乳児園）

- ・令和5年度の第三者評価受審結果より、課題抽出、改善計画を作成、施設運営、養育の質の向上に向けた取り組みの実施。職員間ではグループワークを行い今後の課題や乳児園の強みを再認識の時間をとる。自己評価の結果を各ユニットで取り組めるところを話し合いサービスの向上に努めた。

（清心慈愛園）

- ・子どもアンケートは夏に実施、結果を分析、職員会議でFB。職員満足度調査では「情報共有」と「休憩」についてのパーセンテージが低かったので各部署で検討や見直しを実施。子ども会議は毎月実施出来る限り子どもが主体的に出来るように工夫した。

（聖ヨゼフ園）

- ・月1回の療育相談会。利用者1名に対し、半年に1回の個別支援会議、個別支援計画の評価・立案・実施。利用者から出た意見については参考にさせてもらい支援に繋いでいる。第三者評価を受審することで自分たちが気付かない課題の指摘をもらえる為その部分を今後の改善点に反映していく。

（富の里）

- ・各部署年一回利用者満足度調査は実施。HP掲載、部署内で共有・話し合い改善に努めた。

（篠原の里）

- ・年2回の満足度調査継続。嗜好調査も実施。デイサービスが7月に第三者評価受審を実施、2月に集計とFB。第三者評価は今年度と来年度は受審予定がなく、今年度は改善に取り組んだ。

### （イ）第三者評価に関する取組み

今年度は清心慈愛園が12月に第三者評価を実施、次年度は聖ヨゼフ園が9月に実施予定。

部会では富の里より介護保険地域密着型サービスの外部受審について説明していただき、項目やスケジュールや評価基準についてより理解することが出来た。次年度は勉強会実施後に部会メンバーがその施設へ内部評価に行き、第三者評価を学び、サービスの質の向上に取り組む。

(ウ) 接遇向上委員会の充実

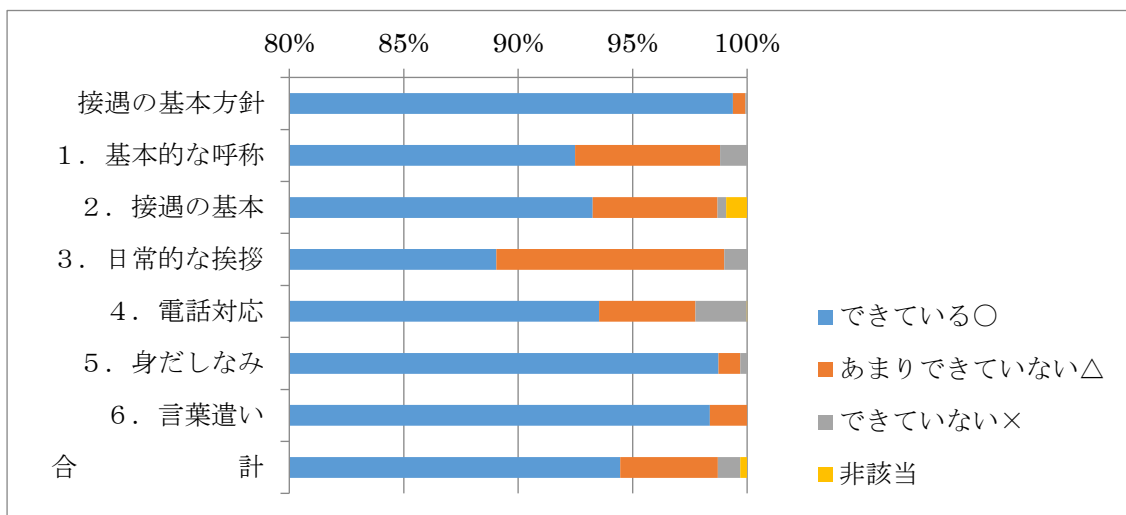
法人内職員の接遇意識の向上を目的として、法人共通の接遇目標（10月：職員の笑顔ひとつでひろがる温かさ 3月：挨拶は人より先に自分から笑顔で返す明るい職場）と職員インタビュー掲載、接遇自己チェック結果と各施設からのコメントを掲載した広報誌（接遇ニュース）を年2回作成して各施設に掲示した。

また各施設の接遇研修で使える動画作成については各施設の感染症対策状況を踏まえ委員会で集まることが出来なかったため作成できなかったが、各施設の研修で使用していただければと以前法人新任事前研修で部会が担っていた接遇の資料に音声を録音した資料を作成した。

最後に今年度も法人内全施設の職員対象に接遇自己チェックを実施した。各項目「出来ている」の割合が年々高くなっている。改善点としては自己評価集計後の分析や委員会としての取り組みが各施設実施出来ていなかったため自己評価後の取り組みも実施する。

【接遇自己チェック集計結果報告】

1. 実施年月：2024年9月
2. 実施した法人職員数：435名（前年比8名増）  
清心慈愛園50 清心乳児園61 聖ヨゼフ園193 富の里88 篠原の里22 ころそ21
3. 法人全体での集計結果



4. 前年との比較 ( )は令和3年度→令和4年度→令和5年度

	出来ている	あまりできていない	できていない
接遇の基本方針	99% (65→98→99)	1% (34→2→1)	0% (1→0→0)
1. 基本的な呼称	93% (55→84→88)	6% (39→15→11)	1% (6→1→1)
2. 接遇の基本	93% (50→87→91)	5% (46→12→8)	1% (4→1→1)
3. 日常的な挨拶	89% (46→81→85)	10% (48→18→14)	1% (5→1→1)
4. 電話対応	94% (48→86→90)	4% (46→12→9)	2% (5→1→1)
5. 身だしなみ	99% (68→98→98)	1% (31→2→2)	0% (1→0→0)
6. 言葉遣い	98% (52→95→97)	2% (47→5→2)	0% (1→0→1)
合計	94% (52→88→92)	4% (44→11→7)	1% (4→1→1)

(6) 法人リスクマネジメント部会 (2024年度(令和6年度)事業報告)

ア 目的

この部会は、各施設でリスクマネジメントの基本的な考え方や具体的な組織のあり方を考え情報を共有し協力体制をとる。

イ 令和6年度の具体的な取り組み

利用者の安全安心の確保をはじめ、災害時の各地区、各施設との連携とBCPの見直し、各施設との情報共有の充実と連携を行い、各施設での取り組みを共有し、連携して継続した実施を行った。

(ア) リスクマネジメントの充実

- i 総合的リスクに対する対応方法の検討
  - ・ 特にサービス提供、災害、事故を現場におけるリスクとして捉え協議し共有できた。
  - ・ 各施設事故防止委員会等で定期的な検討
- ii 利用者の生活習慣病対策
  - ・ 各施設の生活習慣病対策の徹底と情報共有
- iii 福祉避難所としての取り組み
  - ・ 行政との協議と確認（富の里・篠原の里・聖ヨゼフ園）

(イ) 利用者の権利擁護への取り組み

- i 職員倫理規程と行動指針の周知
  - ・ 職員倫理規程、各施設版の行動指針を職員へ周知
  - ・ 虐待防止対応マニュアルの見直しと情報共有（各施設）
  - ・ 不適切な行為をなくす対応を検討し、虐待防止につなげる対策（各施設）  
虐待、権利侵害の根絶に向けての検討と対策の周知を行った。

(ウ) 利用者の安全安心の確保への取り組み

- i 災害時、各地区への応援体制の担当者変更等の確認
- ii 避難訓練の充実
  - ・ 地震、風水害等を想定した避難訓練の実施
  - ・ 消防計画の充実と地域への周知、地域防災計画に沿った協力体制の見直し  
消防団、消防署との合同防災訓練の計画と実施（年1回の実施）（篠原の里）
- iii BCP（事業継続計画）の充実と確認
  - ・ BCPの見直し修正
  - ・ 業務フローの作成  
防災備品の整備と確認（各施設の備蓄品の一覧作成と確保日数）  
BCP義務化に伴う書類整備（各種別で確認、検討）
  - ・ 各施設、洪水の避難確保計画の作成と行政への提出（大刀洗地区）  
土砂災害の避難確保計画の作成と行政への提出（富の里）
- iv 防犯対策の取り組み
  - ・ 防犯マニュアルの見直し修正と周知徹底（各施設）
- v 遊具、設備等の安全点検の実施
  - ・ 児童の安全確保に関する計画について策定と行政への提出（大刀洗地区）

(エ) 各施設との情報共有の充実と連携への取り組み

- i 意見・要望等のサービス改善システムの充実
  - ・ 事例検討を通して、情報の共有と意見交換を行った。（部会開催時各施設より報告）
  - ・ 各施設の取り組み等の共有

ウ 課題

- ・ BCPの見直し検討、修正方法についての検討と各施設との共有
- ・ ハラスメント対策（利用者、保護者、職員）についての各施設での取り組みと情報の共有

(7) 法人地域福祉部会（2024年度（令和6年度）事業報告）

ア 「社会・地域における公益的な取り組み」に関する広報紙の作成

(ア) 広報紙（かわら版）の機能強化として事業活動・提供するサービス内容・公益的な取り組みの実施状況等について地域に積極的に発信した。

- i かわら版の活用方法
  - ・ 各施設で掲示版に掲示
  - ・ 利用者・家族（園だより等と一緒に送付）・法人・施設内の会議・研修・外部での会議・研修・実習生・学校や関係機関訪問・行政・社協・公益的な取り組みで関わる方・就職説明など

- ii かわら版第 17 号掲載内容
  - 御見舞いカードの作成・地域交流会（清心慈愛園）
  - 夏休み中の子ども達との交流（源藤の里こころ）
  - ホームレス支援活動（篠原の里）
  - 菊池小学校区の防火貯水槽の点検と掃除（清心乳児園）
  - 外出支援・サロン活動送迎（富の里）
  - 宿泊体験「サマーキャンプ」の参加協力（聖ヨゼフ園）
- iii かわら版第 18 号掲載内容
  - 地域の方と「クリスマス会」を開催しました！（富の里）
  - 大刀洗中学校の先生方との学習会（清心慈愛園）
  - 食品ロス削減への取り組み（篠原の里）
  - 音楽ボランティア（毎月の楽しみ）のご紹介（源藤の里こころ）
  - 「おたがいさま」でつながる地域のみなさまとの交流；公益的取り組み（聖ヨゼフ園）
  - 「ボランティアほっこり祭り」に参加しました！；地域交流（清心乳児園）
- イ 法人の経営方針等をもとに、各施設の『社会・地域における公益的な取り組み』の相互支援体制の構築
 

実働しており、且つ支援が必要を必要とする公益的取り組み事業を可視化。今年度は 2 つの事業で協働を実施。

  - (ア) 買い物支援；乳児園、慈愛園、聖ヨゼフ園で協働
  - (イ) ホームレス支援；篠原の里、聖ヨゼフ園で協働
- ウ 情報共有
  - (ア) 各施設の取組み（地域における公益的取組み・ボランティア等）について、実施状況や実施に向けた課題や工夫などの情報を相互に共有し、自施設での取り組みの参考とした。
  - (イ) 上記をもとに部会メンバーの相互参加や連携方法を模索し、取り組みの更なる推進を協議した。
- エ 社会福祉法人慈愛会 事業分類の更新
  - (ア) 現状把握を目的に、各施設の事業の再確認を実施。「令和 6 年度 社会福祉法人慈愛会 事業分類」として作成

## (8) 法人感染対策部会 （2024 年度（令和 6 年度）事業報告）

### ア 目的

法人内施設の感染症発生等における情報の共有および相談を受けて対策について検討助言を行う。  
また、感染対策に必要な物品の備蓄を行う。

### イ 会議開催日・方法

- (ア) 第 1 回：5 月 24 日 第 2 回：9 月 20 日 第 3 回：11 月 15 日 第 4 回 2 月 20 日
- (イ) 方法：オンライン（聖ヨゼフ園より Zoom 配信）と書面での報告

### ウ 内容

- 1) 安心安全で良質なサービスを提供するため利用者の生活環境・利用環境を整備する。
  - (ア) 感染症の予防・拡大防止のためのマニュアルの見直しを行い、日常業務に落とし込み感染予防対策を徹底する。
    - i マニュアルの見直し及び修正は、委員会の中で確認するようにしている。
    - ii 感染予防および感染症発生時の対策など研修会や会議を通して職員周知することはできた。発生時は、その都度相談・報告を受けて対応している。
    - iii 標準予防策・接触感染対策を徹底（医療福祉センター聖ヨゼフ園）。
  - (イ) 感染症等を施設に持ち込まないという意識の醸成と実践のための職員研修及び感染症発生報告を実施する。
    - i 障害児者施設・高齢者施設ではマスク着用を義務付けしている。
    - ii ICT による新任職員研修・園内研修、看護部会議、病棟学習会等で、職員自身を感染症から守る PPE 着脱指導や感染症の基礎知識など必要な研修を行った。
    - iii 出勤前に体調確認と、体調不良時は上司に相談し指示を受けるなど感染防止策を講じた。

- (ウ) 感染症予防・拡大防止のために必要な消毒薬などの消耗品や機器の点検と整備。
    - i 在庫管理等は事務職や外来看護師また材料によっては薬剤師が行う等さまざまであったが、管理は確実に過不足なくできた。
  - (エ) 感染の疑いがある者や感染者が発生した場合に備え、感染拡大を防止するゾーニング等の対応方法の明記と周知徹底。
    - i 感染症発生した時は、速やかに隔離対応をするなど感染拡大しないよう配慮はできた。
  - (オ) 入所施設居住系事業所においては、平常時から関係機関（行政・保健所・医療機関）との連携（予防対策・感染者発生時の対応方法への助言・指導等）を図る。
    - i 必要に応じて、保健所などに報告相談をしてアドバイスを受けた。
  - (カ) 感染症と自然災害の併発も想定のうち、事業継続マネジメント（BCP）に組み込んで事業の休止を最小限に抑えるための早期復旧・再開し得る計画を策定し、必要時変更する。
    - i すべての施設において、自然災害・感染症のBCPの策定は出来た。
  - (キ) 各施設間での感染症発生情報を共有（法人共有ネットワーク：感染症レポートへの入力）し、適切な相互支援を行う。
    - i 施設により入力の担当者や時期は様々であったが、入力はきちんとされていた。
    - ii 乳児園の感染症（RSV・インフルエンザ等）発生時は、医師や外来看護師よりメールなどで情報共有をした。
- 2) 基本的人権を尊重した、感染対策を実施する。
- (ア) 利用者やその家族等に感染対策の説明（インフォームドコンセント）をその都度行い、理解と同意を得たうえで、適切な感染対策を行う。
    - i 感染症発生時は、利用者やその家族に対し、適切に説明を行い理解を得た。
    - ii ご家族へ病状と隔離の必要性を説明し、症状改善を確認次第、隔離解除を行った。
  - (イ) 感染拡大のリスクを客観的にとらえ、その変化に応じて多様性や価値観の違いによる差別を根絶して、個人情報保護に基づく適正かつ的確な対策を運営する。
    - i 医療福祉センター聖ヨゼフ園では、すべての利用者のご家族や後見人に対して、年1回の担当医師によるインフォームドコンセント（IC）を行っている。IC中で、多剤耐性菌による感染症で個室管理が必要になった場合は、利用者とそのご家族（後見人）へ説明をしている。
- 3) サービスの質の向上に寄与する。
- (ア) 多様化する感染症の基本的な対策のスキルを習得し、感染拡大を防止するとともに、その対策によって日常生活のサービスの質の低下に繋がらないように、良質な生活環境の確保に努める。
    - i 日常生活の中で、感染症対策に必要な生活制限以外は特に設けていない。
    - ii 感染症発生時は、職員だけに限らず感染対策について利用者への説明と理解と協力を得た。
  - (イ) 医療と福祉サービスの両立。
    - i 法人内施設の特徴を理解したうえで、医療の視点から標準予防策を行う必要がある。
- 4) 今後の課題
- (ア) 法人感染対策部会の会議開催の方法
    - i オンラインまたは文書での報告
    - ii 会議開催回数
  - (イ) BCP見直し
    - i 毎年確認
  - (ウ) 法人内で働く医療職としてスキル向上
    - i 各施設を訪問し、看護師・介護職の役割を知る

## (9) 法人心理士会（2024年度（令和6年度）事業報告）

### ア 定例会議の開催（1回/月）（全13回開催）

- (ア) 情報交換（事例・心理業務・研修他）
- (イ) 勉強会：各施設の心理業務・園内研修等での講義メニュー・心理士による地域支援
- (ウ) 法人内スーパービジョン：検査所見・困難事例 他

(エ) 清心慈愛園の園内研修依頼・大刀洗町の WICS 依頼

#### イ 地域住民を対象とした心理支援の検討・実施

(ア) 大刀洗町親子教室

- i 発達の遅れが気になる幼児および保護者への個別相談及び集団指導  
(4月～3月 合計 12 回)

(イ) 大刀洗町内の保育園児・小中学生への WISC (大刀洗町特別支援教育推進事業)

- i 大刀洗町教育委員会から依頼を受け、大刀洗町内の保育園児・小中学生に WISC を実施した。  
(4月～3月 合計 11 件)

#### ウ 園内研修等への講師派遣 (法人内)

(ア) 講師派遣の依頼は無く、未実施。

#### エ 法人心理士会内のサポート体制の整備と実施

(ア) 新任心理職のサポートの一環として、法人心理士が行う研修等の陪席・見学、定例会議等にて SV を実施した。

#### オ 地域支援に関する外部研修への参加

(ア) 親子関係形成支援事業実施を目標に、研修を受講し、ペアレント・トレーニングのトレーナー資格を取得した。また法人内にて実施し、スキルの研鑽に努めた。

### (10) 法人倫理委員会

開催日	令和6年 4月23日	職員からの臨床研究倫理審査	1件 (承認1件)
	令和6年 5月28日	職員からの臨床研究倫理審査	1件 (承認1件)
	令和6年 11月29日	職員からの臨床研究倫理審査	1件 (承認1件)
		令和6年度内計	3件 (承認3件)
職員からの臨床研究倫理審査【H26.3.3~】 申請累計 58件 (承認58件)			

※ 個人情報保護推進委員会【法人内 (各施設) 個人情報の取り扱いの確認】 年度内〇回

### (11) 災害時の連携・支援による覚書 R3.2.20 締結 (日本福祉大学提携社会福祉法人)

## 8 キャリアステージ対応の職員研修の実施

### (1) 人事考課制度関係研修会

H17年度から導入した人事考課制度は、より良い運用のため各種取り組みを行った。

#### ア 考課者研修会

新任考課者研修	令和6年 4月 3日 集合研修にて実施	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 【計11名】
---------	------------------------	-----------------------------

#### イ 新任職員研修会

新任職員研修 (正規職員)	令和6年 4月 3日 集合研修にて実施	清心慈愛園・聖ヨゼフ園・清心乳児園 【計20名】
新任職員研修 (正規職員)	令和6年 4月 4日 集合研修にて実施	富の里 【計5名】
新任職員研修 (非正規職員)	令和6年 10月 2日 オンラインにて実施	聖ヨゼフ園・清心乳児園・篠原の里 こころ 【計9名】
新任職員研修 (正規職員)	令和6年 10月 2日 オンラインにて実施	聖ヨゼフ園・清心乳児園・富の里 こころ 【計14名】

#### ウ 昇給コンサル会議

令和6年6月10日 (月)

#### エ 今後の継続的課題

- (ア) 考課者育成を充分に行い、人事管理で大切な「人材を育てる仕組み作り」を推進
- (イ) 研修体系と整合性を取った人事考課制度の運用
- (ウ) 人事考課制度の目的や必要性についての職員への理解促進の徹底

- (2) 初任者研修会 (通算参加者 241 名)  
第 8 回 令和 6 年 6 月 24 日～25 日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室) 参加 28 名
- (3) リーダー研修会 (通算参加者 104 名)  
令和 6 年度は、参加者数 (対象者数) から判断し、法人内での実施を見送り。
- (4) 中堅職員ステップアップ研修会 (通算参加者 243 名)  
第 11 回 令和 6 年 7 月 10 日～11 日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室) 参加 21 名
- (5) 新任職員フォローアップ研修会  
ア 令和 6 年 新任職員中間フォローアップ研修 中途採用者向け  
第 2 回 令和 6 年 10 月 27 日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室) 参加 22 名  
イ 令和 6 年 新任研修中間フォローアップ研修  
第 16 回 令和 6 年 10 月 28 日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室)  
参加 35 名 体験談発表者 5 名  
ウ 令和 6 年度 新任職員フォローアップ研修  
第 27 回 令和 7 年 2 月 17 日 集合開催 (富の里地域交流室) 参加 32 名
- (6) マネジメント研修会  
(H28 年度・H30 年度～令和 6 年度は、対象者数等から判断し実施見送り)  
H27 年度～H29 年度の参加者 (通算 20 名)
- (7) 法人全体研修会  
第 26 回 令和 6 年 11 月 14 日 ハイブリット開催 (大刀洗ドリームセンター・Zoom)  
参加者 法人内 6 施設職員 227 名 (会場参加 140 名 Zoom 参加 87 名)
- (8) 新任職員サポーター研修会 (「新任職員サポート制度指針」使用) (通算参加者 268 名)  
第 14 回 令和 7 年 1 月 27 日 集合開催 (聖ヨゼフ園会議室) 参加 18 名
- (9) 新任職員事前研修  
第 26 回 令和 6 年度 法人新任職員事前研修  
令和 6 年 3 月 23 日 (土) ～25 日 (月) 参加 34 名  
集合研修 会場 1 日目 聖ヨゼフ園 会議室  
2 日目 聖ヨゼフ園 会議室  
3 日目 施設見学 (大刀洗 3 施設及び糸島地区 2 施設)

## 9 地域における公益的な取組

- (1) 生計困難者に対する相談支援事業の実施  
ア 定款変更 (認可日) 平成 29 年 11 月 15 日  
(ア) 事業目的に「生計困難者に対する相談支援事業の経営 (第二種社会福祉事業)」を追加  
イ 事業名  
(ア) ふくおかライフレスキュー事業  
(イ) みやざき安心セーフティネット事業  
ウ サポーター研修受講者 (令和 7 年 3 月 31 日現在) 16 名  
[清心慈愛園 4 名・聖ヨゼフ園 4 名・清心乳児園 1 名・富の里 4 名・篠原の里 2 名  
・法人事務局 1 名]  
エ 活動実績 (令和 6 年度)

(ア) 糸島地区（養護老人ホーム篠原の里）

[支援中の案件0件] [支援金額0円] [支援終結数0件]

① ふくおかライフレスキュー事業 糸島地区連絡会

	期日	項目	内容	参加数
1	4月19日	糸島地区連絡会代表者・担当者会議 第52回糸島地区連絡会	これまでの糸島市での取り組み 令和6年度の取り組み	2
2	6月28日	第53回糸島地区連絡会	事業紹介・相談会 炊き出しについて	1
3	8月28日	第54回糸島地区連絡会	成年後見センターについて 炊き出し反省	3
4	10月18日	第55回糸島地区連絡会	参加支援事業について 活動の近況報告	1
5	12月20日	第56回糸島地区連絡会	送迎支援モデル事業について	2
6	2月21日	第57回糸島地区連絡会	ライフレスキュー連絡会代表について	2
延べ参加数				11

② 認定就労訓練事業

	期日	項目	内容	参加数
1	10月13日 ～ 5月31日	認定就労訓練（10：00～12：00） 週3回（月・水・金）	施設内（食堂・階段室・談話室） 清掃	1
2	8月3日 ～ 3月27日	認定就労訓練（13：00～15：00） 週3回（火・木・土）	施設内（浴室・脱衣室）清掃	1

③ ホームレス支援活動

目的

- ①公園内で生活されている方が一時的に寒さを忘れ、「あったかさ」を感じれるよう支援
- ②公園で生活されている方々へ総合相談活動を行い、自立支援や必要な機関への連絡・調整を支援
- ③篠原の里利用者及び慈愛会職員がボランティア活動を体験することによる「自己の振り返り」

期日	内容	場所	参加人数	内利用者	対象者
4月22日	総合相談支援	福岡市博多区 冷泉公園	9名	0名	50名
	すいとん汁作り		6名	3名	
5月27日	総合相談支援		14名	0名	74名
	すいとん汁作り		6名	2名	
6月24日	総合相談支援		12名	2名	71名
	すいとん汁作り		5名	3名	
7月22日	総合相談支援		13名	1名	68名
	すいとん汁作り		4名	3名	
8月26日	総合相談支援		9名	0名	59名
	すいとん汁作り		0名	0名	
9月23日	総合相談支援		12名	2名	76名
	すいとん汁作り		4名	0名	
	総合相談支援	12名	2名	60名	

10月	30日	すいとん汁作り		6名	3名	
11月	25日	総合相談支援		14名	2名	76名
		すいとん汁作り		4名	0名	
12月	23日	総合相談支援		17名	2名	65名
		すいとん汁作り		5名	2名	
1月	27日	総合相談支援		14名	2名	59名
		すいとん汁作り		6名	2名	
2月	24日	総合相談支援		15名	0名	47名
		すいとん汁作り		8名	3名	
3月	24日	総合相談支援		16名	2名	84名
		すいとん汁作り		6名	3名	
合 計				217名	39名	789名

※「食事の提供」については、すいとん汁・ホッカイロ・お茶を提供

※「食事の提供」とともに毎回健康相談実施。健康手帳を配布、バイタルを記載。

## (2) 地域福祉・福祉教育等

### ア 買い物支援（聖ヨゼフ園・清心慈愛園・清心乳児園・法人事務局）

- ・毎週金曜日に大刀洗町大堰烏飼地区とA コープ大刀洗店間の送迎を実施  
(計26回・延べ102名利用)

### イ きょうだい児支援（聖ヨゼフ園・清心慈愛園・法人事務局）

- ・進学・進級お祝いメッセージカード、誕生カード送付（15名）
- ・参加児に向けたお便りの定期発行（2回）
- ・YouTube 動画の作成・公開（2回）
- ・集合形態での開催（1回 きょうだい児7名参加）

### ウ 施設見学の受入れ（聖ヨゼフ園・法人事務局）

- ・大学・短期大学（2校）
- ・民生委員・主任児童委員（1地区）

### エ 山隈健康クラブ 【介護予防活動】

- ・活動回数/参加職員数；63回/122人

### オ だんだん 【大刀洗町居場所支援】

- ・活動回数/参加職員数；10回/19人

## 10 障害者雇用に関する取組

### (1) 障害者雇用の促進

「障害者の雇用の促進等に関する法律」の改正に伴い、障害者の雇用義務履行のため、障害者雇用として就労している職員の業務内容把握、また、今後、提供が可能と考えられる業務内容について確認を行い、障害者雇用の促進に努めた。

### (2) 年間の障害者雇用状況（令和6年度）

	常用雇用労働者数 (年間) ※1	法定雇用率	除外率 ※2	法定雇用障害者数 (年間)	障害者雇用（年間）	
					実雇用数	法人雇用率
令和6年度 (実績)	5109.0名	2.5%	40%	84名	84名	2.5%

※1…週20時間以上の労働者。短時間労働者は×0.5人

※2…除外率適用事業所：清心慈愛園・清心乳児園・聖ヨゼフ園

## 11 法人ホームページの運営

- (1) 公式ホームページ 掲載画面再構築（令和3年3月19日公開）
- (2) 採用サイト 公開（令和6年12月28日）

## 12 事業所内保育所（きっずるーむ あいあい）

### (1) 許認可等

- ア 平成25年12月27日（福岡県の「事業所内保育施設運営計画」認定決定通知 受領）
- イ 平成26年 1月17日（福岡県あて「認可外保育施設設置届出」提出）

### (2) 事業開始 平成26年1月6日

### (3) 管理運営責任者 株式会社アイگران（広島市西区庚午中1-7-24）

### (4) 保育施設

- ア 医療福祉センター聖ヨゼフ園3階73.62㎡  
（保育室15.90㎡、乳児室25.66㎡、便所1.33㎡、調理室5.65㎡、その他（事務室等）25.08㎡）
- イ 保育実績 2024年度 延べ1,725名  
（2023年度 延べ1,186名 2022年度 延べ1,147名 2021年度 延べ1,494名）

## 13 全国社会福祉協議会との職員研修事業

### (1) 令和2年度

- ア 全社協への研修派遣 1名（清心乳児園所属職員）
- イ 全社協（総務部所属）から研修受入 1名

### (2) 令和3年度

- ア 全社協（国際部所属）から研修受入 1名

## 14 国際貢献事業

### (1) アジア社会福祉従事者研修生（全国社会福祉協議会）受入状況

第30期	1名	平成25年9月12日 ～平成26年1月24日	フィリピン	ホスピシオ デ サンホセ	ソーシャルワーカー（女性）
第31期	1名	平成26年9月22日 ～平成27年1月21日	スリランカ	ネセック財団	ソーシャルワーカー（男性）
第32期	1名	平成27年9月29日 ～平成28年1月22日	フィリピン	ネオシモ財団	ソーシャルワーカー（女性）
第35期	1名	平成30年10月8日 ～平成31年1月18日	大韓民国	ナレウル グループホーム	ソーシャルワーカー（女性）
第36期	1名	令和元年10月7日 ～令和2年1月17日	台湾	桃園家庭扶助 センター	ソーシャルワーカー（女性）
第37期	1名	令和5年9月28日 ～令和6年1月17日	タイ	t t b財団 子どもと地域開 発センター	ソーシャルワーカー（女性）
第38期	1名	令和6年10月8日 ～令和7年1月17日	タイ	ドゥアン・プラ ティーブ財団	ソーシャルワーカー（女性）

### (2) 韓国学生日本社会福祉研修受入状況

第1期生	16名	2000年7月17日～7月24日 (8日間)	韓世大学
第2期生	17名	2001年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学
第3期生	18名	2004年1月26日～2月2日 (8日間)	韓世大学

第4期生	17名	2004年8月1日～8月8日 (8日間)	韓世大学、江南大学、水原女子大学、天安大学、 大真大学、新吉総合福祉館
第5期生	17名	2005年7月31日～8月7日 (8日間)	韓世大学、江南大学、天安大学、新吉総合福祉館
第6期生	18名	2006年7月30日～8月7日 (9日間)	韓世大学、江南大学、聖潔大学、淑明大学、新吉 総合福祉館
第7期生	18名	2007年7月30日～8月6日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、ルー テル大学、新吉総合福祉館
第8期生	17名	2008年7月28日～8月4日 (8日間)	韓世大学、江南大学、崇實大学、全北大学、韓国 デジタル大学、新吉総合福祉館、同志社大学
第9期生	19名	2010年7月26日～8月2日 (8日間)	崇実大学、全北大学、江南大学、ルーテル大学、 九鳳福祉財団、新吉福祉館
第10期生	19名	2011年8月1日～8月8日 (8日間)	木浦大学、江南大学、韓世大学、全北大学、カト リック大学、白石大学、新吉福祉館
第11期生	19名	2012年7月31日～8月7日 (8日間)	崇実大学、江南大学、韓世大学、全北大学、新吉 福祉館
第12期生	16名	2014年8月4日～8月11日 (8日間)	新吉福祉館、江南大、又松大、南ソウル大、全北 大、崇實大、ルター大
第13期生	20名	2016年8月1日～8月8日 (8日間)	祥明大、江南大、又松大、三育大、水原女子大、 建国大、南ソウル大
第14期生	19名	2017年7月31日～8月7日 (8日間)	新吉、祥明大、江南大、建国大、水原女子大、又 松大
第15期生	16名	2018年7月30日～8月6日 (8日間)	崇実大、祥明大、又松大、水原女子大、北京大、 江南大
第16期生	16名	2019年7月29日～8月5日 (8日間)	水原女子大、又松大、江南大、ソウル女子大、極東 大、永登浦障得人福祉館
合 計	282名		

備考 2002年：サッカーワールドカップ日韓大会のため中止（学生ボランティア参加）

2009年：新型インフルエンザ流行のため中止

2013年：聖ヨゼフ園改築工事（新館）の為中止

2020年：新型コロナ流行のため中止

### (3) 韓国社会福祉視察研修

#### ア 2004年視察

(ア) 研修期間 H16年7月24日(土)～26日(月)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(新吉総合社会福祉館・児童養護施設 安養保育院・韓国社会福祉協議会)

(ウ) 参加者10名 (本法人役職員8名、他社会福祉法人2名)

#### イ 2010年視察

(ア) 研修期間 H22年8月27日(金)～29日(日)3日間

(イ) 視察研修先 大韓民国 ソウル市

(社会福祉士協会・新吉総合社会福祉館

10周年記念セミナー・研修生との交流会(第1～9期生))

(ウ) 参加者12名 (本法人役員7名、学識経験者1名、他社会福祉法人4名)

## 15 経営組織のガバナンス強化への対応

### (1) 内部監査の実施

法人事務局職員が対象施設を訪問し、事業執行状況等について内部監査を行った。

法人事務局については、医療福祉センター聖ヨゼフ園職員が同様に内部監査を行った。

	実施日	対象施設	実施者
1	令和7年5月14日	源藤の里こころ	法人事務局職員
2	令和7年5月26日	富の里	法人事務局職員
3	令和7年5月26日	篠原の里	法人事務局職員
4	令和7年5月27日	清心慈愛園	法人事務局職員
5	令和7年5月27日	清心乳児園	法人事務局職員
6	令和7年5月28日	医療福祉センター聖ヨゼフ園	法人事務局職員
7	令和7年5月28日	法人事務局	医療福祉センター聖ヨゼフ園職員